

## 支店だより

News from branch offices



紀の里の各地域では、季節ごとに地域性を活かした、当地ならではの催し物が開かれています。今月も、各地からの話題をお伝えします。



## 「めっけもん広場」の桃、大盛況

紀の里地域本部ファーマーズマーケット「めっけもん広場」では、桃の主力品種「白鳳」がピークを迎え、旬の桃を買い求める来店者で店内は賑わっていました。

多くの人たちに桃を持ち帰ってもらおうと、購入は1人2箱までとし、今年も整理券を配って入場制限を設け、混雑防止に配慮するなどの対応を行いました。

今後は上品な食感と甘みが特徴の「清水

白桃」や果肉がしっかりとて歯ごたえのある「川中島白桃」等へと品種間リレーをしています。

同FMの吉川功二郎店長は「今年も美味しく仕上がっている。ぜひ、めっけもん広場で地元の特産、自慢の桃を味わってほしい」と話しました。

粉河  
支店

## 園児の田植え体験!!

6月13日に愛の光幼稚園の園児17名が、管内の組合員の田んぼをお借りして田植え体験を行いました。

最初に営農指導員より、どうやってお米ができるかの説明を行い、園児達は熱心に聞いていました。

その後、実際に田んぼに入った園児達は、「冷たくて気持ちいい」、「足が抜けない」など、どろんこになりながら、田植えを楽しんでいました。

梅雨入り後の晴天の日に、田んぼの中は園児の笑顔で溢れました。

那賀  
支店

## すももの「目揃え会」開催

6月23日、東部流通センターにて「すももの目揃え会」を開催しました。

那賀管内の生産者や関係者が集まり、出荷に向けて品質や規格の確認を行いました。

すももは爽やかな酸味と甘みが特徴で、美容や健康にも効果があるとされ、ビタミンCやポリフェノールを豊富に含んでいます。

旬を迎えるこの時期、丹精込めて育てられたすももを、是非ご家庭で味わってください。





桃山  
支店

## 桃の新品種、お披露目!!

6月19日、あらかわの桃振興協議会にて、新しく品種登録された「あらかわ早生」の試食会が開催されました。この品種は、早生品種の起爆剤として期待され、当日は、農家の方やその他多数の関係者の参加があり、既存の早生品種との食べ比べを行いました。

試食後、「美味しかった」「色が赤くて綺麗」との好評な意見も出ましたが、栽培した場合どのような見通しになるかなど活発な意見交換が行われました。

今後も、「あらかわの桃」から目が離せません。



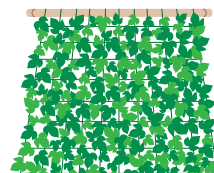
打田  
支店

## グリーンカーテン設置

打田支店では4月末に定植したゴーヤに、ネットを設置しました。定植から2ヶ月経過し、すくすく成長しています。

成長するとグリーンカーテンとなり日射のエネルギーが80%カットされ室内の温度の上昇を防ぐ効果があると言われ、節電効果が期待できます。

今後の成長が楽しみです。



岩出  
支店

## ゴーヤのグリーンカーテンの実施

岩出支店では、今年も恒例のゴーヤのグリーンカーテンをはじめました。

グリーンカーテンは、窓から入る直射日光を遮るので、室内の温度上昇をおさえてくれ、CO2削減・節電対策になります。

毎日職員が交代で水やりをかかさずおこない、立派なカーテンができるように管理していきます。

また、ゴーヤの綺麗な花が咲き、おいしい実が育つのを楽しみにしています。

さらに、岩出市の特産品である、ねごろ大唐も植えています。ご来店の際は是非ご覧ください。



貴志川  
支店

## 丸栖小学校野菜探検隊

貴志川町で野菜を栽培している中川幸宣さんの圃場に、丸栖小学校2年の児童18人が【野菜探検隊】としてやってきました。

野菜探検隊は、タブレットと探検バッグ・水筒を持ち、熱中症対策も万全。「ピーマンとパプリカの違いは何ですか?」「野菜が病気になったらどうしていますか?」等、畑で大人顔負けの質問をして、一生懸命メモをとっていました。質問コーナーの後、実際に畑で収穫体験を行い、野菜好きになった野菜探検隊は「学校帰りに中川さんの畑に寄るねー!」「また遊びに行くな」と喜んでいました。

2025.8

最新の農作業情報は  
ホームページからご覧になれます

【組合員様専用ページを見るには】

インターネットで以下のアドレスを入力

<https://members.ja-kinosato.or.jp/>

または

JAわかやまホームページ▶組合員様専用ページ

右図と同じユーザー名とパスワードを入力して  
ログインしてください。

組合員様専用ページ

aguri

kinosato11

ログインID/パスワードを記憶

ログイン

## 水 稲

中干し以降の水管理は、長期間の溜水は避け、なおかつ水不足とならないような「飽水管理」(足跡に水が残る程度の浅水になるのを待ってから入水する)に努めましょう。また、早期の落水は胴割れの発生が多くなるので注意しましょう。

「水稻栽培暦例」より各品種の刈り取り適期(成熟期)を確認し、落水、稲刈りを計画的に行いましょう。

収穫後の乾燥・調整作業も玄米品質に大きく影響するため、設備は事前に点検し、適切な乾燥、籾すりを行いましょう。カメムシの発生にも注意しましょう。周辺のイネ科雑草から侵入します。出穂期の圃場周辺の除草を励行

## 青ネギ

## 野 菜

表1. 水稻の防除例

出穂直前の防除

| 病害虫名                 | 薬剤名         | 倍 数    | 使用時期 / 使用回数 |
|----------------------|-------------|--------|-------------|
| ウンカ類、ツマグロヨコバイ、コブ/メイガ | トレボン乳剤      | 1000 倍 | 14 日前 / 3 回 |
| 紋枯病                  | モンカットフロアブル  | 1000 倍 | 14 日前 / 4 回 |
| いもち病、穂枯れ(ごま葉枯病菌)     | ダブルカットフロアブル | 1000 倍 | 穂揃期迄 / 2 回  |

出穂後7～10日後の防除

| 病害虫名                  | 薬剤名          | 倍 数    | 使用時期 / 使用回数 |
|-----------------------|--------------|--------|-------------|
| カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ   | スタークル顆粒水溶剤   | 2000 倍 | 7 日前 / 3 回  |
| いもち病、紋枯病、もみ枯細菌病、内稃褐変病 | ブラシンバリダフロアブル | 1000 倍 | 14 日前 / 2 回 |

防除後以降での発生時

|            | 薬剤名        | 倍 数    | 使用時期 / 使用回数 |
|------------|------------|--------|-------------|
| 紋枯病発生圃地    | バリダシン液剤 5  | 1000 倍 | 14 日前 / 5 回 |
| いもち病発生圃地   | ブラシンフロアブル  | 1000 倍 | 7 日前 / 2 回  |
| カメムシ類、ウンカ類 | スタークル顆粒水溶剤 | 2000 倍 | 7 日前 / 3 回  |

\*いずれの散布も、展着剤(ネオエステリン5000倍など)を加用してください。

しないと、薬剤防除だけでは対策不足となります。

防除薬剤については表1を参考にしてください。

夏場の高温多雨の年に、軟腐病の発生が多く見られます。風雨による付傷部や食害痕等から病原菌が進入する為、天候を見ながらスターナ水和剤200倍(7日前/3回)等で防除を行ってください。

また、夏から秋にかけてネギアザミウマ等の発生が多く見られる為、ハチハチ乳剤1000倍(7日前/2回)などで定期的に防除を行ってください。

## キャベツ

育苗期間は、セル苗で20～25日間(本葉3枚)、地床育苗ではバラ播きとし、10～15日後(本葉15～2枚)に10×15cmに仮植えて、10月上旬までに定植してください。

## 白菜

11月収穫の白菜の播種は、8/20～30日頃、1～2月収穫の白菜の播種は、9/1～5日頃です。育苗期間は、セル苗で20～25日間(本葉3枚)で、定植を行ってください。

## ブロッコリー

12～1月収穫のブロッコリーの播種は、8/5～20日頃です。育苗期間は地床育苗で30日間(本葉5～6枚)、プラグ育苗では25日間(本葉3枚)です。

夏播きでは高温期であるため、寒冷紗により地温を下げ、こまめなかん水が必要で。

## アブラナ科野菜

(キャベツ、白菜、ブロッコリー等のネコブ病対策)

ネコブ病が懸念される圃場では、定植10日前までに石灰窒素を約100kg/10aすき込んでください。

また、定植前にネビジン粉剤(又はネビリュウ)を20～30kg/10a施用(土壌混

和)してください。

セル育苗では、ランマンフロアブル500倍の2ℓ/育苗トレイのかん注(定植前日/当日)を併用するとより高い効果が期待できます。

## 夏秋野菜類のキスジノミハムシ対策

表2を参考に散布してください。

表2. 夏秋野菜類のキスジノミハムシの対策

| 薬剤名       | 野菜名                               | 10a当たり |
|-----------|-----------------------------------|--------|
| フォース粒剤    | だいこん                              | 4～9kg  |
|           | かぶ                                | 4kg    |
|           | 非結球あぶらな科葉菜類                       | 4kg    |
| ダイアジノン粒剤5 | だいこん、はなっこりー                       | 4～6kg  |
|           | かぶ                                | 6kg    |
|           | なばな類(はなっこりー、なばなを除く)               | 6kg    |
|           | 非結球あぶらな科葉菜類(ケール、こまつな、みずな、ひろしまを除く) | 6kg    |

上記の薬剤などを土壌混和し、播種しましょう。

## いちご育苗時期の管理について

●かん水について

かん水は午前11時頃と午後3時頃の2回を目安としてください。夕方のかん水は酸欠状態となり病気の発生を助長するため気を付けてください。

●追肥について

育苗期の後半(普通ポット栽培では8月中旬。定植予定期の約1ヶ月前)に窒素切りを始めますが、近年の品種は窒素を切りすぎると芽無し(2番果の花芽が形成されない)の発生が多く見られるので注意してください。

●葉かきについて



葉かき(3〜4枚の状態を維持)は8月中旬までの晴天日に行い、定植後は5〜6枚を維持する程度の葉かきを行い、生長を促しましょう。

●害虫対策  
ダニ類は常時発生しますので注意しましょう。

表3を参考に散布してください。  
また、炭そ病や疫病はクラウンの地際から発生することが多いので地際にかかるよう丁寧に薬剤を散布しましょう。

●新芽の変形

・発生要因

①過湿による疫病

②微量要素欠乏

(微量要素含有の液肥で対策)

③ホコリダニ

(前述ダニ剤など、ホコリダニに効果がある薬剤の散布)

表3. いちごの防除例

| 病害虫名 | 薬剤名        | 倍 数       | 使用時期/使用回数 |
|------|------------|-----------|-----------|
| ダニ類  | アグリメック     | 500~1000倍 | 育苗期/2回    |
|      | ダニオーテフロアブル | 2000倍     | 前日/2回     |
|      | コテツフロアブル   | 2000倍     | 前日/2回     |

\*上記の薬剤などをローテーション散布してください。

## 柑橘

管理作業は先月に引き続き摘果が中心です。暑い時期の作業となりますので、日中の気温の高い時間帯は避け、十分に水分補給を行って熱中症に注意しましょう。

### 温州みかん

●仕上げ摘果

仕上げ摘果の目標は、M・Lの階級が中心となるように行います。仕上げ摘果の時期は果皮が滑らかになってくる8月

中旬以降で、葉果比が20〜25(果実1果あたり葉20〜25枚)になるように調整します。摘果時のM・L階級の目安(表1)を参考にしてください。摘果する果実は、腰高果、傷果、病害虫被害果、色の薄い果実など外観や品質の劣るものです。

着果量が多い樹で、まだ粗摘果が済んでいない樹は肥大が遅れているので、早急にスソ成りや内成り果を摘果して樹勢低下を防いでください。着果量の少ない樹では摘果は行わず、最終の樹上選果を行ってください。

### 中晩柑類

●仕上げ摘果

中晩柑は大玉生産が基本です。そのため8月に仕上げ摘果を終わるように心がけましょう。仕上げ摘果では、小玉果、傷果、奇形果、病害虫被害果など、商品性の低い果実を間引いてください。

●かん水

温州みかんの品質向上には土壌を乾燥させて樹体にストレスをかけることが必要ですが、中晩柑では果実肥大が進むこの時期の乾燥は、肥大の抑制や樹勢の低下に繋がります。特に不知火やはるみでは酸高果の発生要因になりますので、1週間以上晴天が続く場合は20ミリ程度のかん水を行いましょ。

●獣害対策

近年、イノシシによる農作物被害が増えてきています。事前に防護柵や電気柵の設置を行なうとともに、設置後の維持管理として破損箇所の修復や電圧点検、草管理を徹底してください。



表1. 摘果時の果実横径の目安 果実横径(mm)

|       |     | 8月20日 | 9月1日  | 9月10日 |
|-------|-----|-------|-------|-------|
| 温州みかん | 極早生 | 44~54 | 48~58 | 53~64 |
|       | 早 生 | 41~51 | 46~55 | 50~59 |
|       | 普 通 | 39~48 | 43~52 | 47~57 |
| 中晩柑類  | 八 朔 | 62~   | 67~   | 72~   |
|       | 清 見 | 52~   | 57~   | 62~   |
|       | 不知火 | 57~   | 60~   | 63~   |

・温州みかんはM・L級の目安  
・中晩柑はL以上の目安



表2. 防除例

| 品 目         | 防除時期              | 対象病害虫       | 薬剤名              | 倍 数   | 安全使用基準(日数/回数)          |
|-------------|-------------------|-------------|------------------|-------|------------------------|
| みかん<br>中晩柑類 | 8月下旬              | コナカイガラムシ類   | ダントツ水溶剤          | 3000倍 | 前日/3回                  |
|             |                   | アザミウマ類      | ダニゲッターフロアブル      | 2000倍 | 前日/1回                  |
|             |                   | ミカンハダニ      | ジマンダイセン水和剤       | 600倍  | みかん30日/4回<br>中晩柑90日/4回 |
|             |                   | ミカンサビダニ     | または、<br>ペンコゼブ水和剤 |       |                        |
|             | 9月以降<br>(降雨が多い場合) | カメムシ類       | スタークル顆粒水溶剤       | 2000倍 | 前日/3回                  |
|             |                   | チャノキイロアザミウマ | ナティーボフロアブル       | 1500倍 | 前日/3回                  |
|             |                   | 黒点病         |                  |       |                        |

\*9月下旬までに収穫する温州みかんは、ジマンダイセン水和剤(ペンコゼブ水和剤)に替えて、ナティーボフロアブル 1500倍(前日/3回)を散布する。  
\*収穫時期の早い中晩柑類は収穫前日数に注意する。

## 落葉果樹

### 桃

●礼肥

収穫後から落葉までは、着果による消耗を回復させ来年のための貯蔵養分を蓄える時期になります。そのため、9月上旬に千代田化成549または、未来508を10aあたり20kgを基準に施用しましょう。施肥量は樹勢に応じて加減してください。

●夏秋季剪定

これから落葉までの期間は、貯蔵養分の蓄積時期となり、翌年の初期生育の決め手となる時期です。そのため高品質な桃を生産するには、樹冠内部までよく光が当たるようにする事が重要となります。

密植園ではまず間伐や縮伐から始め、その後夏剪定を実施するようにしましょう。夏剪定は、樹勢が強く過繁茂になっている樹で行います。懐の結果枝の日照不足を改善し、翌年の結果枝の充実を図りましょう。また、今月は礼肥と土づくりの時期となっています。表2を参考に施用しましょう。

### 柿

●適期収穫

9月から、早生品種の収穫が始まります。収穫基準を遵守し、果面に傷を付けないように果梗は短く切りましょう。雨天時に収穫した場合、果実をふき取らずに扇風機などを利用し乾かしてから出荷しましょう。

また、着色向上のためにシルバーマルチ敷設と摘果を行ってください。摘果は収穫予定の2週間前を目安に実施しましょう。

●軟果抑制対策

気温が高い時期は流通時の果実軟化が問題になります。高温時の収穫は出来るだけ避け、収穫した柿は日陰に置き、シルバースシートで日よけを行いましょう。

また、新聞紙と有孔ポリ袋を用い、軟化抑制に努めてください。

表1. 品目別防除例

| 品 目                  | 時 期                                      | 対象病害虫                                        | 薬剤名                                                 | 倍 数                              | 収穫前使用<br>日数/回数                   |
|----------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 桃                    | 9月以降                                     | カイガラムシ類<br>(秋期の発生は枝の<br>枯死に繋がるので<br>発生に注意する) | モベントフロアブル                                           | 2000倍                            | 7日/3回                            |
| 柿                    | 8月下旬<br>～<br>9月上旬                        | アザミウマ類、<br>カメムシ類<br>落葉病・炭疽病<br>うどんこ病         | アグロスリン水和剤<br>ベンレート水和剤                               | 1500倍<br>2000倍                   | 前日/3回<br>前日/6回                   |
| いちじく                 | 8月下旬                                     | (展着剤)<br>カイガラムシ類<br>さび病                      | スカッシュ<br>モスピラン顆粒水溶剤<br>ラーイー水和剤                      | 2000倍<br>2000倍<br>2000倍          | - / -<br>前日/3回<br>前日/4回          |
|                      |                                          | 疫病 (風雨前)                                     | ライメイフロアブル<br>ランマンフロアブル<br>レーパスフロアブル<br>アミスター10フロアブル | 3000倍<br>2000倍<br>2000倍<br>1000倍 | 前日/3回<br>前日/3回<br>前日/3回<br>前日/3回 |
|                      | 9月以降<br>発生時                              | さび病                                          | ラーイー水和剤<br>フルーツセイバー<br>アミスター10フロアブル                 | 2000倍<br>1500倍<br>1000倍          | 前日/4回<br>前日/3回<br>前日/3回          |
|                      |                                          | ※アミスター10フロアブルは単用散布で、展着剤はネオエステリン5000倍を使用する    |                                                     |                                  |                                  |
|                      | 9月以降の<br>展着剤は<br>スカッシュ<br>2000倍を<br>加用する | 黒かび病                                         | ダコニール1000                                           | 2000倍                            | 前日/2回                            |
|                      |                                          | ハダニ類                                         | ダニコングフロアブル<br>マイトコーネフロアブル                           | 2000倍<br>1000倍                   | 前日/1回<br>前日/1回                   |
|                      |                                          | イチジクヒトリモドキ                                   | アディオン乳剤                                             | 3000倍                            | 前日/2回                            |
|                      |                                          | カイガラムシ類                                      | モスピラン顆粒水溶剤                                          | 2000倍                            | 前日/3回                            |
|                      |                                          | ショウジョウバエ類                                    | アーデント水和剤                                            | 1000倍                            | 前日/2回                            |
|                      |                                          | カイガラムシ類                                      | コルト顆粒水和剤                                            | 2000倍                            | 前日/3回                            |
| スモモ                  | 9月上旬                                     | コスカシバ                                        | トラサイドA乳剤                                            | 200倍                             | 樹幹及び主枝に<br>散布(収穫後～<br>発芽前2回以内)   |
| キウイ<br>フルーツ          | 8月下旬<br>～<br>9月上旬                        | 果実軟腐病<br>カメムシ類                               | トップジンM水和剤<br>スタークル顆粒水溶剤                             | 1000倍<br>2000倍                   | 前日/5回<br>前日/3回                   |
| ぶどう<br>大粒ハウス<br>大粒露地 | 収穫後                                      | ブドウトラカミキリ<br>コガネムシ類成虫<br>べと病・さび病             | スミチオン水和剤40<br>ムッシュポルドーDF<br>クレフノン                   | 1000倍<br>500倍<br>100倍            | 大粒種21日/2回<br>小粒種90日/2回<br>- / -  |

## いちじく

●夏季剪定  
樹勢の強い樹では枝が繁り、樹幹内部まで光が入らないのでふところ枝が枯れこんでいきます。また、枝も徒長的に伸び、花芽の着きも悪くなります。そこで、樹勢の調整と結果枝の充実のために夏季剪定を行いましよう。ただし、樹勢の弱い樹では行わないでください。

## キウイフルーツ

●かん水  
今月は果実の充実期となっています。キウイフルーツは乾燥に弱いので、乾燥状態が続くと樹勢が低下してしまいますので、定期的にかん水を行いましよう。

## ●収穫

今月も引き続き収穫作業が中心になりますが、夜温が高く湿度の高い時は熟度が進むため、収穫遅れにならないように注意しましよう。

●適熟果の目安は、果実の重みで下垂し、耳たぶくらいの硬さの果実です。また、いちじくの白い樹液が皮膚に付くとやけど状態になりますので、長袖と薄手のビニール手袋等を使用して収穫してください。

## ●かん水

適度な土壌水分を保つため、晴天が続く場合は、毎日午前中に少量ずつかん水を行ってください。

## 花

## しゃくやく

表2. 品目別施肥例

| 品 目   | 使用時期            | 施用量 (10aあたり)                                                                                |
|-------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 桃     | 9月上旬(礼肥)        | 千代田化成549 または 未来508……20kg                                                                    |
|       | 9月～10月<br>(土作り) | 完熟堆肥1～2t または アヅミン……80kg<br>セルカ または 苦土セルカ2号……120kg<br>(土壌分析の結果により苦土が少ない園では、<br>スーパーマグ……60kg) |
| いちじく  | 9月上旬(追肥)        | 硫酸加里……10kg                                                                                  |
| 梅・スモモ | 9月(土作り)         | 完熟堆肥……2t または アヅミン……80kg                                                                     |
| ぶどう   | 9月中下旬<br>(土作り)  | 完熟堆肥……2t または アヅミン……80kg<br>セルカ または 苦土セルカ2号……120kg<br>(土壌分析の結果により苦土が少ない園では、<br>スーパーマグ……60kg) |

土壌消毒も終わり播種時期となります。早期出荷を目的として、8月中旬、9月上旬を目安とし、中旬まで標準出荷できる計画を立てて播種してください。高温時の育苗とならないよう、事前の寒害に注意してください。

## ストック

●定植後の管理として、草丈を伸ばす為、適宜かん水してください。  
また、病害虫の発生には十分注意してください。9月になり降雨が多い場合、黒腐病の発生が懸念されます。病害虫の対策として表2を参考にして防除してください。

## 葉ボタン

●8月中旬より花芽分化が始まります。花芽を充実させるため、1回目の秋肥として、紀の里5号ペレットを10aあたり80kg施用してください。また、乾燥時にかん水に留意してください。

## ●病害虫防除

表1を参考に散布してください。

表2. 葉ボタンの防除例

| 病害虫名                 | 薬剤名         | 倍 数        |
|----------------------|-------------|------------|
| ヨトウムシ類、<br>ハイマダラノメイガ | プロフレアSC     | 2000～3000倍 |
|                      | ディアナSC      | 2500倍      |
|                      | グレーシア乳剤     | 2000倍      |
| 根ちく病                 | パレード20フロアブル | 2000倍      |
|                      | アフエツフロアブル   | 2000倍      |
| 立枯病(リゾトニア菌)          | オーソサイド水和剤80 | 600倍       |
| 立枯病(ピシウム菌)           | ランマンフロアブル   | 2000倍      |
| 黒腐病                  | バリダシン液剤5    | 800倍       |
|                      | ジマンダイセン水和剤  | 600倍       |

表1. しゃくやくの防除例

| 病害虫名  | 薬剤名         | 倍 数   |
|-------|-------------|-------|
| コウモリガ | フェニックスフロアブル | 2000倍 |
| 斑葉病   | ジマンダイセン水和剤  | 600倍  |
| うどんこ病 | パレード20フロアブル | 2000倍 |
|       | シグナムWDG     | 1500倍 |

表3. ストックの防除例

| 病害虫名      | 薬剤名     | 倍 数        |
|-----------|---------|------------|
| ハイマダラノメイガ | プロフレアSC | 2000～3000倍 |
|           | ディアナSC  | 2500倍      |
|           | グレーシア乳剤 | 2000倍      |

●ハイマダラノメイガ(シンクイムシ)防除  
表3を参考に散布してください。  
紗を被覆し、畝の芯まで湿るようたっぷりかん水し、地温を下げておきましよう。播種後はこまめなかん水で発芽が揃うまで、基本的に乾かさないうちに、夕方(過湿に気を付けましよう)に播種後2週間を目安に八重鑑別を行い、寒冷紗等で日除けします。寒冷紗等は徐々に取り除き、定植1週間後には寒冷紗等を除去できる状態にしましよう。寒冷紗等の除去は夕方に行いましよう。

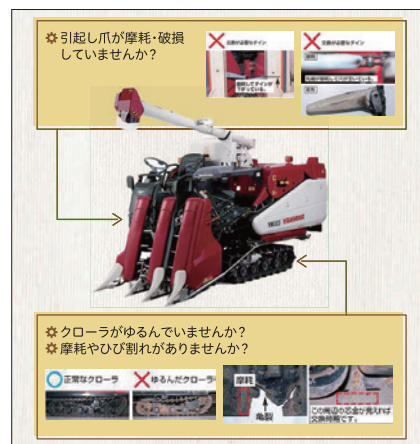


購  
買

## コンバインの準備を忘れずに!

今年もコンバインの使用時期が近づいてきました。

故障や事故を事前に防止するためにも、引起し爪の摩耗・破損やクローラの緩みや摩耗・ひび割れの確認・メンテナンスを行いましょう。その他、エンジン始動前にコンバインの油類の確認と、ベルトの劣化・緩みの確認をしましょう。乾燥機、糞摺り機も使用前には点検と試運転を必ず行いましょう。

営  
農令和7年産  
柑橘類と柿の生産量調査が  
7月から始まりました。

生産量調査は、過去から積み上げてきた60園地において着果数と肥大の計測を行い、その結果から本年の生育状況や有利販売につながる情報を提供しています。今年は6月27日に史上最速で梅雨明けといった条件下で、柑橘類では2次落果が多く見られました。8~9月の仕上げ摘果では、小玉果・キズ果などの見直しを講習会や園地巡回を通じて啓発します。柿の着果状況は、平年並みで2番果や奇形果が多く見られました。収穫まで高品質生産に向けて引き続き仕上げ摘果を推進していきます。

販  
売

## 大阪中央卸売市場で桃トップセールスを実施

JAわかやま紀の里地域本部は7月1日(火)主要出荷先である大果大阪青果(大阪市中央卸売市場本場)で、桃のトップセールスを開催しました。

紀の川市岸本市長をはじめ、同地域本部の中山地域本部長、JAわかやま紀の里地域本部桃部会の青柳部会長、宮村副部会長、西本副部会長らと関係者が参加し、出荷が最盛期を迎える主力品種の白鳳のPRを行いました。桃販売セレモニーでは、産地紹介のPR動画を流し、産地代表として紀の川市の岸本市長が今年も美味しい桃が出来ました、ぜひご賞味くださいと挨拶。来場した市場関係者には、袋入りの白鳳を手渡し大盛況でした。

金  
融

## 紀の里地域本部 税務&amp;年金無料相談会のご案内!!

税務・年金などについてご不明な事はございませんか?

税理士・社会保険労務士・司法書士を招き、お一人おひとりのご相談に丁寧にお応えします。税務・年金に関する相談などお気軽にご相談ください。

税 務

令和7年9月28日(日)・令和7年10月26日(日)

年 金

令和7年11月23日(日)

場 所

JAわかやま 岩出支店

時 間

12:00 ~ 15:00

※ご相談はお一人様30分以内とさせていただきます。

※ご予約優先とさせていただきます。

※ご予約・お問い合わせは各支店窓口・渉外担当者までお問い合わせください。

